

学校と家庭をつなぐ遠隔指導の試験運用について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、5月31日まで市内の学校が臨時休業となっております。

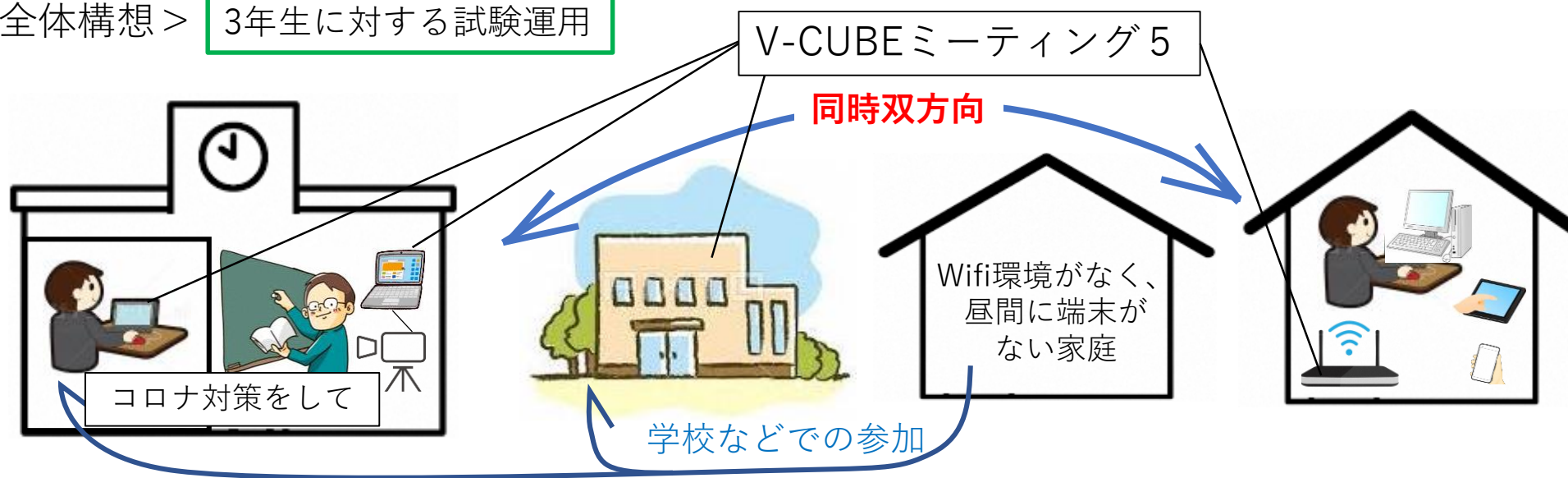
現在、高岡市教育センターが中心となり、各学校作成の授業動画をインターネット配信、それらを高岡ケーブルネットで放映、さらには各学校で予習や復習、生活、健康等の指導に対応したプリント類を作成、配布することによって、児童生徒の家庭での学習、生活、健康を支えています。

しかし、臨時休業が長期化する中で、児童生徒の不安感を取り除くため、3密を避けながら一人一人の児童生徒と顔を合わせて様々なことを確認し、一人一人に対して指導・助言できないか、検討してまいりました。

そこで、遠隔授業を推進していただいている慶応義塾大学SFC研究所とのコラボレーション（協働）により、まずは中学校3年生について学校と各家庭をつないだ遠隔指導の仕組みを構築することができないか試験的な運用を行うことにしました。

<全体構想>

3年生に対する試験運用



自宅にwifi環境があり、昼間に端末（できればスマホ）がある家庭

※スマホは設定が簡単で接続が容易
※ホーダイの契約をしているスマホならwifi環境は不要

※1回1時間程度で約500MBの packets 通信が行われるのでご注意ください。

※PC、タブレットはOSがいろいろあり、設定が難しい。最新バージョンのOSで、カメラ、マイクがついており、OSのUPDATEをしていないとトラブルの原因に。

試験運用の手順

- ①案内を保護者の皆様にメール配信し、参加を募ります。回答先を示します。
- ②5月18日から、試験運用に参加する生徒からの接続テストを行います。（学級ごと、指定した時間に会議を開催：学校からメールで示します。）
- ③調整が終わった学校から遠隔指導を開始します。主に、生活、健康、学習課題等の不安解消を目的とします。環境が整っていないご家庭の生徒は、その時間にwifi環境がある施設に行くか、学校に登校することで指導を受けます。

V-CUBEへの接続方法

- ①マニュアルを保護者の皆様にメール送信し、生徒が各自で、端末にV-CUBEミーティング5をインストールします。
- ②学校から保護者（または本人）にメールで、遠隔指導のネット上にある会議室について、V-CUBEの暗証番号を送信します。
- ③生徒は、指定の時刻になったら、V-CUBEの会議室に入室します。（特定の時間しか利用できず、生徒の個人使用はできない。）